2022年　春闘要求アンケート＜付属校教職員＞　実施：**2／21 ～ 3／4**

今年も皆様の生活・意識やご意見を伺って、春闘要求の基礎資料とするための調査を実施いたします。

大学理事会との交渉において最大の武器となるのが「現場の声」です。民主的組織を標榜する以上、大学理事会は私たち現場の声を無視することはできません。逆に、私たちの声が小さいと、どれだけ組合側が正論を主張しても「それは組合さんの見解に過ぎない」と、大学当局はまともに取り合おうとすらしません。組合は、これまで悔しい思いばかりを積み重ねてきています。

理事長が交代し、組織再生に待ったなしのこのタイミングこそ、私達現場の声を大学中枢に響かせる絶好の機会です。この機を逃さず、組合は団体交渉の場を通じて皆さんの声をお届けします。是非、ご意見をお聞かせください。

【日本大学教職員組合／高校支部】

　**3月4日(金)までにこの用紙に記入し最寄りの組合員に提出してください。**

メールにて回答をご希望の方は、御手数ですが回答したアンケートをPDFファイル化して同じく3月4日( 金 )までに組合書記局(nichidai.kumiai@gmail.com)までお送り下さい。メールの題名は「アンケート」とし、本文は白紙で構いません。アンケートですので、匿名で結構です。

【回答者自身について】

問1．回答者の属性　部科校名：

①　教員　　　②　職員　　③　常勤講師　　④　非常勤講師

【新型コロナの状況下について】

問２．新型コロナ状況下で、業務全体にどのような問題が起きていますか(複数回答可)

① 在宅の生徒の状態が把握しづらい　　② 生徒対応にかかる時間が増えた

③ 通常業務に手間がかかるようになり、全体として業務時間が増えた

④ 感染予防対策のための業務が増えた

⑤ リモートの影響で教員間の連携が悪くなった（会議・指揮系統の乱れ含む）

その他:

問３.オンライン授業(ハイブリッド授業含む)に関する問題点を教えてください。(複数回答可)

① 課題提出・採点の負担が増えた　　　② ITスキルの習得が難しい　　　③ 通信障害・端末トラブルが多く発生

④ 授業水準を下げざるを得なかった（生徒の理解度が下がった）　　⑤ 生徒の理解度把握が困難

⑥ 指示の不徹底がおこりやすい　　　⑦ オンライン授業向けの教材準備の負担が増えた

その他:

問４．新型コロナ状況下で、大学にどのような措置を希望しますか

①　手当・一時金・設備補助費など、金銭的サポート　　②　学生フォローアップ窓口の開設などの人的サポート

③　IT環境整備や、撮影・配信補助などのハード面の整備　　　④ワクチン職域接種の迅速化

⑤　発熱による出勤停止措置（8日間）の緩和

その他：

【賃金について】

2021年春闘要求では、大学の財政状況（過去5年間の平均は92.3億円の黒字、2021年度は当初106億円の黒字予算でしたが、補助金不交付により決算は減る見込み）や可処分所得の減少額などを踏まえ、**ベース・アップ3,000円、一時金を6.58ヶ月＋38,500円に戻すこと** を要求しましたが、**実績は19年連続でベアなし、一時金支給基準額が「基本給及び家族手当の6.55ヶ月」（13年間同じ）**でした。

問５.　どの程度のベース・アップを要求するのが適当と考えますか。

　①　1,000円以下　　　　　②　2,000円程度　　　　　③　3,000円程度

④　4,000円程度　　　　　⑤　5,000円以上　　　　　⑥　要求しない

問６．　年間の一時金（賞与）の支給基準額について、2022年度春闘ではどのような要求をすることが妥当だと考えますか。月数および加算金額を記入してください。

《参考》2021年度春闘　組合要求　6.58ヶ月+38,500円　　　2021年度理事会1次回答　6.5ヶ月

　　　　　　　　　ヶ月　＋　　　　　　　　　円

賃金に関してご意見がありましたらお書きください。

【福利厚生について】

問７．教職員に対する保育支援について、どのようなものを大学にどちらを要望しますか。

① 休日出勤などの際に、職場に臨時託児所を開設　　②休日出勤などの際の、保育サービス利用時の補助

③　自宅近辺での託児所・ベビーシッター利用のための補助金支給　④男性の育児者による各種制度の利用推進

問８．介護休暇・休業について、大学にどちらを要望しますか。

① 介護休暇（5日間）を有効に使うための方法を知るためのセミナー・相談窓口がほしい

② 介護休暇を10日間程度まで増やし、時間休などで柔軟に取れるようにしてほしい

③ 介護の実費に対する補助金（休日出勤などに臨時ヘルパー利用など）を支出してほしい

④ 遠距離介護に対する交通費補助

⑤ 介護休業（最大１年）の制度設置

⑥ 介護による時短勤務制度の設置

【職場での人権問題について】

問９．この一年間、職場で何かしらのハラスメントを受けたり、目撃したりしたことがありますか。

　① ある　　② ない

問10．《問9の質問で、「① ある」と答えた方へ》　その相手は誰ですか。（複数回答可）

　① 上司　　② 同僚　　③ 保護者　　④ その他

問11．《問9の質問で「1．ある」と答えた方へ》　それをどのような行為でしたか。（複数回答可）

　① 身体的な行為（暴行・障害）　　　② 精神的な行為（脅迫・暴言等）

③ 人間関係の切り離し（隔離・仲間外し、無視）

　④ 過大な要求（業務上不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害）

　⑤ 過小な要求（業務上の合理性なく、能力や経験と離れた程度の低い仕事を命じること、仕事を与えないこと）

　⑥ 個の侵害（私的なことに過度に立ち入ること）　⑦ その他

　※　差し支えなければ、具体的な内容をご記入ください。

問12．学内の人権相談オフィスについてどう思いますか（複数選択可）

　① 人権被害に遭ったらぜひ利用したい　　　　　②人権被害に遭った人に紹介したい

　③個人情報が守られそうにないので利用しない　④相談しても解決できそうにないので利用しない

　⑤相談しても解決しそうにないので利用しない　⑥心理的に抵抗があって利用しない

　⑦忙しく時間が無いので利用しない　　　　　　⑧人権オフィスについてよく知らないので分からない

　⑦その他

【大学側との団体交渉について】

問13．2022年度の春闘要求で、特に力を入れて交渉してほしいものを選んでください。（最大３つまで）

① 変形労働時間制の撤廃・見直し ② 非常勤講師の5年ルールの見直し ③ 常勤講師制度の見直し

　④ 2018年度以降の採用者に適用されている「新給与体系」の見直し ⑤ 年度末定年の導入

 ⑥ 部活動指導の改善（部活の職務認定・負担軽減・顧問委嘱の拒否、手当増額等）

 ⑦ 授業コマ数の削減 　 ⑧ 専任教員の増員 　　 ⑨ 採用試験受験資格の適正化

⑩ 基礎学力テストの見直し（基礎学力選抜枠・範囲・時期等）

⑪ 福利厚生拡充（託児所の設置、時短勤務の拡充等）

⑫ 校長・教頭の選出方法および任期の明確化・適正化

⑬ 理事長公選制とその有権者枠（小中高教員枠）拡大

【授業持ちコマ数に関して】

問14．今年度の持ちコマ数（ＬＨＲ・道徳・総合の時間含む）はいくつですか。　 　　　　　コマ

問15． 本来、あるべき持ちコマ数（ＬＨＲ・道徳・総合の時間含む）は　いくつだと思いますか。　　　　　　コマ

【組合全体や執行委員会への意見・要望】

問16．組合全体や執行員会の活動など、ご意見・ご要望があればお書きください。

【理事会・大学本部に伝えたいこと】

問17．最後に、日本大学で働く教職員として、あなたが加藤理事長や理事会、大学本部に最も強く要求したいことや主張したいことをお書きください。

ご協力ありがとうございました